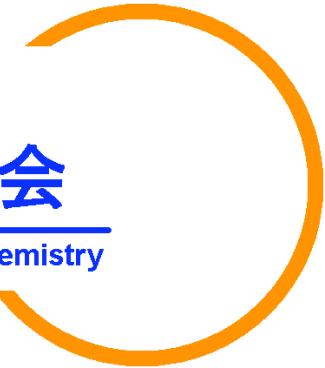
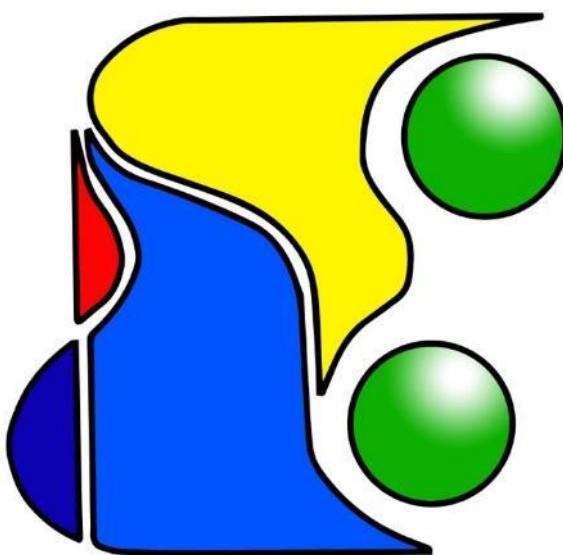


SPACC
先端錯体工学研究会

The Society of Pure and Applied Coordination Chemistry



SPACC News Letter
(January, 2026)



SPACC ニュースレター (SPACC News Letter)
(2026 年 1 月号)

目次

1. 2025 年度先端錯体工学研究会年会開催報告

大阪教育大学 福本晃造
琉球大学 高良 聰・中川 鉄水

2. 2025 年度 各賞募集のお知らせ

3. 2026 年度 若手研究奨励賞(旧 学生研究奨励賞)募集のお知らせ

4. SPACC 一般会員及び学生会員ご入会のお願い

5. 今後の行事予定及び事務局からのお知らせ

★賛助会員からのお知らせ

Contents of this issue (January 2026)

1. Report on the SPACC Annual Meeting 2025 by Prof. Kozo Fukumoto at Osaka Kyoiku University, Prof. Satoshi Takara and Prof. Tessui Nakagawa at Ryukyu University
 2. Call for SPACC Awards 2025
 3. Call for SPACC Young Investigator Award 2026
[Takeda Rika Kogyo Co. Ltd Award]
 4. Invitation to join SPACC – General and Student Members–
 5. Upcoming Event Information
- ★ Recommendations from Supporting Companies

1. 2025 年度先端錯体工学研究会年会開催報告

2025 年度先端錯体工学研究会年会開催報告

大阪教育大学 福本 晃造
琉球大学 高良 聰・中川 鉄水

2025 年度先端錯体工学研究会年会を 2025 年 11 月 2 日（日）に、琉球大学 50 周年記念館にて開催しました。

本会では、特別講演 1 件、招待講演 2 件、口頭発表 10 件、ポスター発表 19 件の合計 32 件の発表に加え、小中高生の研究発表を行うジュニアセッションにて 10 件のポスター発表が行われました。国内外から 51 名の参加者がありました。特別講演として、株式会社東芝・立教大学大学院客員教授の岩永寛規氏より「新規ホスフィンオキシド配位子を有する Eu(III)錯体の特性とそのアプリケーション」、招待講演として琉球大学教授の安里英治氏より「琉球大学での 35 年を振り返って ビスマス化学から大環状配位子錯体化学まで」、Yeditepe University 教授の Taner Akbay 氏より「On the Surfaces of Complex Oxides: With Special Emphasis on Oxygen Reduction」と題する講演がありました。優秀発表賞として 11 件、中高生優秀発表賞として 5 件、小学生優秀発表賞として 5 件が授与されました。

遠方にも関わらず、多くの研究者にご参加いただき、活発にご議論いただきありがとうございました。日々の環境とは異なる中で、たくさんの交流も生まれ、次の研究の刺激にもなったことと思います。また、SPACC が主催する会議としては、数少ない小中高校生が発表するセッションを開催しました。未来の科学者を目指す後進育成にもご協力いただき、ありがとうございました。



2025 年度 先端錯体工学研究会年会 集合写真

**2025年度
先端錯体工学研究会賞
先端錯体工学研究会奨励賞
先端錯体工学研究会技術賞
候補者募集要項**

先端錯体工学研究会賞、先端錯体工学研究会奨励賞および先端錯体工学研究会技術賞の候補者について、会員によるご推薦をお願いいたします。

なお、2025年度の各賞の受賞年は2026年ですが、2025年度までの業績に対しての授賞となります。

各賞候補者の推薦方法

1. 提出書類

つぎの1)～3)の書類を電子メールまたは郵送でご提出願います。

1) 推薦者

A4版用紙(縦)2枚以内に横書きで、「先端錯体工学研究会賞授賞候補者推薦書」、「先端錯体工学研究会奨励賞授賞候補者推薦書」、あるいは「先端錯体工学研究会技術賞授賞候補者推薦書」と標記し、つぎの項目を記載

①推薦者: 氏名、勤務先・役職、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス)

②授賞候補者: 氏名、勤務先・役職、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス)、略歴

③授賞候補者の業績題目

④授賞候補者の業績概要および推薦理由

2) 業績リスト

A4版用紙(縦)に横書きで記入

3) 参考資料

推薦業績に関する参考資料(論文、総説、特許等)の別刷りまたはコピー

(5報以内、各5部、電子メールでの提出の場合は、pdfファイル)

2. 推薦の締切

2026年3月31日(火)必着のこと。

3. 推荐書類送付先

〒192-0015 東京都八王子市中野町 2665-1

工学院大学 教育推進機構 4号館3階 04-307室

先端錯体工学研究会 事務局 桑村直人

電話: 042-628-4075

e-mail: kuwamura@cc.kogakuin.ac.jp

3. 2026年度 若手研究奨励賞 募集のお知らせ

2026年度 若手研究奨励賞募集要項

先端錯体工学研究会では、次世代を担う若い学生の研究を奨励するため、2019年度より「学生研究奨励賞（2024年度より「若手研究奨励賞」に改名）」を設け、本会分野である錯体関連およびバイオ・エンジニアリング関連の基礎および応用研究分野に関して、学術上優れた研究を行い、将来の発展を期待しうる学生会員を表彰することとなりました。本賞は、先端錯体工学研究会が関連する研究分野において、博士前期課程（修士課程）または博士後期課程（博士課程）において学生がそれぞれの立場で行った質の高い主体的な研究活動を積極的に評価、奨励するものです。学生の皆様には、下記要領で奮ってご応募されますようご案内申し上げます。

記

1. 賞の趣旨

先端錯体工学研究会に属する学生会員の研究を奨励するために、学術上優れた研究を行い、将来の発展が期待できる学生を表彰する。

2. 受賞者の決定方法

応募者の中から受賞者（若干名）を決定する。

3. 応募者の資格

応募者は、申請締切りまでに本会学生会員であり、過去に先端錯体工学研究会において、1回以上口頭発表またはポスター発表（共同演者可）を行った、または本会のニュースレターに研究紹介を寄稿した学生とする。

4. 応募方法

応募用紙に所定の事項を記入後、SPACC事務局宛、指導教員を同報（cc）として、応募用紙の電子ファイルをお送りください。応募が受領されると、応募者と指導教員に受領通知を電子メールでお送りいたします。提出後、7日経過しても受領通知の電子メールが届かない場合は、応募先までお問い合わせください。

5. 応募締切

2026年4月30日（月）

6. 応募先及び問い合わせ先

先端錯体工学研究会事務局 桑村直人

jimukyoku@spacc.gr.jp

以上

4. SPACC 一般会員および学生会員ご入会のお願

先端錯体工学研究会(SPACC)会員の皆様におかれましては、常日頃より本学会の活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。学生の皆様につきましてもご入会をお待ちしております。ご希望の場合、1研究室あたり年会費1,000円で、20名様まで入会・登録していただけます。SPACCが主催する国際会議において、講演賞・ポスター賞の審査には、必ず学生会員登録が必要です。

[年会費]

- ・個人正会員

賛助会員(1口)10,000円

正会員: 3,000円

- ・学生会員(1口)1,000円

(1研究室で1口につき20名まで)

- ・法人会員(1口)

維持会員: 10万円

一般会員: 2万円

[入会手続]

- ・電子メールによる手続

以下のURLに記載されているフォームをダウンロードするかコピーして必要事項をご記入の上、

jimukyoku@spacc.gr.jp宛に送信してください。

個人正会員用: <http://spacc.gr.jp/page2e.html>

学生用会員: <http://spacc.gr.jp/page2f.html>

法人用: <http://spacc.gr.jp/page2g.html>

振込先: 先端錯体工学研究会

- ・振込用紙を用いた郵便振込

00130-7773549

- ・銀行からのお振込

ゆうちょ銀行

(金融機関コード: 9900)

○一九店(店番: 019)

当座 0773549

- ・郵送による手続

以下のURLに記載されているフォームをダウンロードして、必要事項をご記入の上、事務局宛に郵送して下さい。

個人正会員用: <http://spacc.gr.jp/page2e.html>

学生用会員: <http://spacc.gr.jp/page2f.html>

法人用: <http://spacc.gr.jp/page2g.html>

*学生会員の場合:

会費の振り込みの際は、担当教員名か研究室名を、通信欄あるいは振込者名に書き加えて下さい。また、登録学生およびメールアドレスは、忘れずに事務局宛にお知らせください

郵送先

〒141-8648 品川区東五反田 4-1-17

東京医療保健大学大学院

医療保健学研究科

松村 有里子

5. 今後の行事予定及び事務局からのお知らせ

主催

The 31st International SPACC Symposium (SPACC31)

場所: 大阪公立大学 杉本キャンパス

会期: 2026年7月10-11日(金・土)

担当: 西岡 孝訓 (大阪公立大学)

詳細は、追ってご連絡致します

編集後記

昨年11月に SPACC 年会が琉球大学で開催されました。現地の小学生・中学生・高校生、琉球大学生も発表するという他に類のない学会を企画された、実行委員長の福本先生ならびに琉球大学の中川先生、高良先生には入念なご準備を頂き、誠にありがとうございました。おかげをもちまして私の学生も初めての学会発表を経験し一回り成長してくれたように思います。また12月には、Pacificchem にて東京科学大学の中村先生が New Approaches to Large Molecular Architectures としてシンポジウムを開催頂きました。大変活発な会になったと聞いております。お世話取り、誠にありがとうございました。本号では、賞の募集要項を掲載しました。SPACC では、研究を頑張る若手研究者・学生さんを奨励していきたいと考えています。奮ってのご応募をお待ち申し上げます。(桑村)

ニュースレター担当への問い合わせ方法

ご研究紹介等、SPACC ニュースレターへのご寄稿をしていただける場合や、本会が主催または協賛するシンポジウムの情報は、事務局までお気軽にお知らせください。

先端錯体工学研究会事務局

E-mail: jimukyoku@spacc.gr.jp

東京医療保健大学大学院 松村有里子

高速液体クロマトグラフ質量分析計

Liquid Chromatograph Mass Spectrometer

LCMS-8060NX ANALYTICAL INTELLIGENCE

Enhanced performance

Sensitivity and Robustness

- 世界最高クラスの感度と測定速度
- ダウンタイムを最小化する高い頑健性
- ワークフロー全体を効率化する操作性



高速液体クロマトグラフ質量分析計

Liquid Chromatograph Mass Spectrometer

LCMS-2050 ANALYTICAL INTELLIGENCE

SIMPLY EFFORTLESS

LCMS-2050は、装置サイズの大幅な小型化と、分析の高速化・高感度化の両立を実現したシングル四重極質量分析計です。極限まで小さくなったボディの中には、島津の技術が凝縮されています。LC検出器としての使いやすさとMSの優れた能力をかけあわせて、完璧なユーザビリティを追求した質量分析計、それがLCMS-2050です。



LCMS-2050の特長や動画をWebでご紹介

